

災害対応の基本方針

【防災対応の3原則】

- ① 疑わしきときは行動せよ
- ② 最悪事態を想定して行動せよ
- ③ 空振りは許されるが、見逃しは許されない

【平時における対応】

—— 普段できないことは本番でもできない、事前の備えが重要 ——

- ・ 災害の発生に備え、防災計画・局内体制を整備し、平素から訓練を行うべし
- ・ 関係機関と「顔の見える関係」を構築し、いつでも連携できる体制を整備すべし
- ・ マスコミ対応の担当者や災害情報の共有方法をあらかじめ確認すべし

【発災前後の情報収集】

—— 的確な情報収集・伝達を行い、先手を打つ ——

- ・ 定められた情報を「待つ」のではなく、積極的に「取りに行く」べし
- ・ もたらされた情報がどのような意味を持つのか、瞬時に判断すべし
- ・ 「危険」な情報ほどトップまで迅速に伝達すべし
- ・ 住民への情報提供は、マスコミの活用も考慮すべし

【発災後の対応（応急）】

—— 人命第一、住民の安心のために使えるものは何でも使う ——

- ・ まずは災害の規模を大局的に把握すべし
- ・ 住民の命に直結することは躊躇せず決断すべし
- ・ 災害対応は総力戦、全局挙げて対応し、外部からの支援も積極的に活用すべし